

グループ多摩虫 2009年3月22日 総会資料

0、総会 総会の進行 議長；小柴清之 書記；麻生紀章（役員会選出による）

「総会は会員の過半数の出席者（委任状による代行を含む）で成立し、その過半数の賛成により議案を決議する。」（会則、第12条より）

会員総数；146名。内、本日参加； 名、総会委任状受理； 名で、合計 名となり、過半数72名を上回り、総会は成立する。

1、会員 前年度末会員数134名に対し、新入会員12名、退会（3/末）3名で143名。

内、女性7名、学生会員6名。尚、4/1日入会予定4名。

2、08年度活動実績と09年度計画

08年度実績			09年度計画
項目	(月/日)	参加人数	内容
			月度予定
春行事	(5/5~6)	25名	ヒメギフ観察、清里、小平山荘
4月例会	(4/15)	32名	中国広東省南嶺の蝶(大島)インド紀行(間野)
5月例会	(5/20)	28名	南大東島紀行(山田成)ヒメシジミ高地型(中谷)
6月例会	(6/17)	31名	多摩虫デジカメ写真展
7月例会	(7/15)	32名	大雪山のウスバキ(梅村)アリとゴマン属(坂本)中国吉林省のウスバシロを訪ねて(寺)
8月例会	休会		
夏合宿	(8/2~3)	22名	清里、小平山荘
9月例会	(9/21)	39名	中国、ミャンマー紀行、大雪山の蝶(渡辺康之氏)
10月例会	(10/21)	31名	南ベトナム一人旅(仁平)9月のベトナム(早坂、斎藤太)
11月例会	(11/11)	36名	デジカメ映像の補正術(梅村)キルギス採集記(大島)
12月例会	(12/16)	53名	セリ会、出品32名、82点、売上げ341,800円
1月例会	(1/20)	35名	DNAデーターのバーコード化について(吉武啓氏)
2月例会	(2/17)	32名	一人一話
3月総会	(3/22)	名	総会、
会誌発行			51号(6月)、52号(3月)発行
ミニたま			毎月発行
メーリングリスト、ホームページ			ML参加114名、投稿数2760通、HP追加・更新2.8回/月
東京都の蝶データ集			報告35名、報告メール169通、データ数2442件

3、会計報告、

収入の部	2008年度実績		2009年度予算案	
	金額	内訳	金額	内訳
前年度繰越金	125,947		284,051	
会費	518,000	4000×123名+2000×13名	538,000	4000×128名+2000×13名
入会金	18,000	1500×12名	0	
会誌売上	127,180		80,000	バックナンバー売上含
セリ会より	68,100	12月	60,000	
寄付	13,462		0	
収入合計	870,689		962,051	
支出の部				
会場費	54,900	4300×12、3300×1	50,600	4300×11+3300×1
通信費	57,801	会誌(51号)ミニたま発送他	100,000	会誌発送費は52～54号分。
備品費	0		70,000	PC購入を想定
事務用品費	33,049	用紙封筒インク代他	30,000	
会誌作成	402,838	会誌51,52号分	450,000	カラー写真増加想定
雑費	38,050	演者車代、役員会費用等	30,000	
支出合計	586,638		730,600	
次年度繰越金	284,051		231,451	

4、会則の改定について

会費納付手続きの変更（09年度より）に伴って、会則の一部を変更する。

1、第6条（手続き及び会費）の内、

- ・・・会費は・・・2月末日までに翌期分を納入する。・・・を
- ・・・会費は・・・3月末日までに翌期分を納入する。・・・に変更する。

2、第7条（退会）の内、

- ・・・連絡無く1年以上会費未納の者は退会したものとみなす。・・・を
- ・・・期限内に会費未納の場合は4月1日に会員資格を失い、6月末までに会費納入のない場合は退会とする。・・・に変更する。

5、役員改選

本総会は役員改選の時期に当たり、09、10年度の役員を選出する。

選出経過

- 1、次年度役員への立候補、推薦を告知（ミニタマ、例会、メール）したが、1/末までの期限内に自薦、他薦とも無かった。
- 2、このため、2月7日、会長は役員会を招請し、以下の役員会推薦候補者を、出席役員全員の合意で決定した。

仁平勲、麻生紀章、小沢英之、北川朝生、栗山 定、倉地 正、小柴清之、斎藤基樹、坂本洋典、山田成明、橋本栄利、（以下新任）宮崎茂穂、三輪眞言、中西立郎、以上14名。

3、尚、現役員の内、退任申出のあった仲西周二氏、早坂弘次氏、連絡不明の中原真一氏は推薦外とした。又、新任候補とした3氏からは、後日、候補者として同意の快諾を得ている。

4、更に、役員会では、会務の分担(案)を以下に検討した。

- ・会長の会務分担を軽減し、且つより円滑な会務を行うため、副会長を置くこととした。
- ・同目的で、会計を独立させ、総務を新設した。

担当	役員氏名	備考
会長	仁平 勲	役員会招請、ミニタマ編集
副会長	(麻生紀章)、(北川朝生)	会長補佐
会計	北川朝生、(小柴清之)	
総務	小柴清之	総会運営、印刷等
企画	麻生紀章、宮崎茂穂、三輪眞言、斎藤基樹	行事運営
編集	山田成明、栗山 定、坂本洋典、中西立郎、	会誌発送業務を含む
I T	倉地 正、橋本栄利、小沢英之	HP, ML 管理、東京都蝶データ管理
例会	(麻生紀章)、(北川朝生)、(斎藤基樹)	例会演目検討、司会進行

() は兼務。尚、以上の他会務として、森本博氏が会誌表紙のデザインを担当している。

以上

* 新入会員 (4/1 付、宜しくお願いいたします)

中村 清 〒190-0021 立川市羽衣町 2-48-4 T: 090-1120-4995

patapata@millionlovers.com

伊藤 哲夫 〒241-0824 横浜市旭区南希望ヶ丘 34-19 T.F: 045-366-3525

tetsuo@wa.catv-yokohama.ne.jp

* メールアドレス変更

岡田 秀紀 erebia-meta@gunma.email.ne.jp

* 新聞紙上より



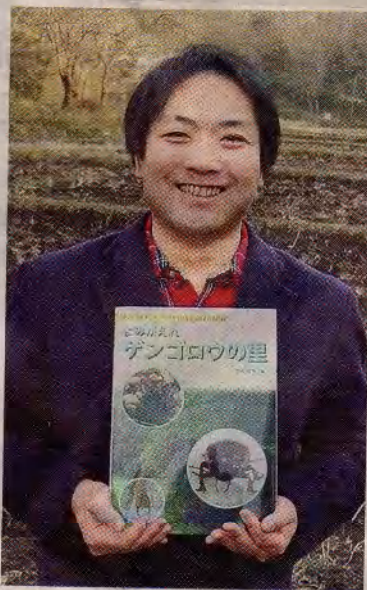
絶滅の危機にある水辺の生き物の保全が叫ばれています。『よみがえれゲンゴロウの里』（童心社）は、東京大学保全生態学研究室の病院長の西原さんが、子どもたちに身近な自然を知ってもらい、地域で守ってほしいと願って書きました。

◇
子どもの頃から横浜市南部に残る里山や小学校の自然教室で水生生物に親しみ、保全を考えていました。医学士、内科医として母方の故郷の石川県にいた

生物研究者・医師 西原昇吾さん 37

09.2.28 読了(9)

時、絶滅危惧種シャープゲンゴロウモドキの現状を調べ、自ら保全活動をしようと決意。2001年には生物多様性の保全について研究するため大学院に入学し、ゲンゴロウ類の生息地の保全を、行政や地元働きかけ始めました。06年に活動についての論文を読んだ編集者が本の執



筆を依頼。かつて生き物の児童書から大きな影響を受けた自分を思い出し、将来を担う子どもたちが生き物保全の必要性を学ぶきっかけになればと執筆を引き受けました。ゲンゴロウ類の生態、生

生き物保全の必要性訴える

息地の維持・管理、アメリカザリガニをはじめとした有害な外来種の駆除などの活動を、撮影した写真約150枚も入れて分かりやす

く解説。原稿は親戚の小学生にもチェックしてもらいました。

石川、千葉県などで続けている小学校の自然観察会や授業中に、水辺で楽しく学ぶ子どもたちの姿や、保全活動が子どもから地域に広がる様子も紹介しました。

普段は論文を書いているが、児童書の執筆には違う喜びがあります。これからも環境教育にかかわっていきたいです。(泰)